

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成29年 1月 5日 更新

事務事業名	各種広域幹線国道整備促進期成会参画事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり		所属部	事業部	課長名 中村 公彦
	施策	5	道路ネットワークの充実		所属課	建設課	担当者名 坂本 卓博
	施策の柱	13	計画的な道路の整備		所属班	管理計画班	(内線) 2252
予算科目	会計一般	款 8	項 1	目 1	事業連番 10059	根拠法令	成果優先度評価結果 : コスト削減優先度評価結果 :
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	<p>中九州地域高規格道路推進期成会(阿蘇市他11市町加盟、平成5年2月設立)、熊本阿蘇幹線道路整備促進期成会(南阿蘇村他16市町村、昭和61年8月設立)、菊池熊本間交通アクセス整備促進期成会(菊池市、合志市、平成14年7月設立)熊本環状道路建設促進期成会(熊本市他11市町加盟、平成8年2月)県北横断道路促進期成会(菊池市を含め県北19市町村、平成10年1月設立)これら期成会は、沿線地域における流通や観光発展及び交通渋滞解消等につながる道路整備を広域的に連携をとることで早期に実現するため諸施策を行っています。 平成26年度より中九州地域高規格道路推進期成会の会長職及び事務局を担当することとなった。 平成28年度より(事業番号10001:各種道路整備期成会等参画事業)に統合する。</p>
【業務の流れ】	<p>期成会会員として、総会・幹事会への参加、及び整備要望箇所を振興局とともに現地確認し、意見交換を行っている。 平成26年度総会より中九州地域高規格道路推進期成会の会長を合志市長が、また、事務局を担当することとなった。</p>
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	特になし。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動)(DO)	各種期成会幹事会、総会に出席 中九州地域高規格道路推進期成会では、事務局として期成会運営を行った。国県や国会議員への要望活動を行いました。	28年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 各種期成会幹事会、総会に出席 中九州地域高規格道路推進期成会の企画運営 国県へや国会議員へ要望書の提出。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)回 ア:総会への出席 イ:現地調査、意見交換会	予算の主な増減の理由 各種道路整備期成会等参画事業に統合
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	国・県道の円滑な交通網の整備促進	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)箇所 ア:国県道数 イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	快適に移動できる	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)件 ア:要望件数 イ:
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠 厳しい財政状況の中で、市民より道路の整備要望が多くあっている。その為には財源の確保及び国、県の管轄である道路について早期着手に向け要望を行っていく。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	25年度実績(決算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	27年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	予定	見込	見込
①活動指標	ア	回	4	5	6	0				
	イ	回	1	1	1	1				
②対象指標	ア	箇所	4	4	4	4				
	イ									
③成果指標	ア	件	4	5	5	5				
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A)事業費計	一般財源	千円	235	435	345	240			
		(A)のうち指定経費	千円	235	435	345	240			
		(A)のうち時間外、特勤	千円	235	235	245	140			
人件費	正規職員従事人数	人	4	4	0	5				
	延べ業務時間	時間	60	60	0	670				
(B)人件費計		千円	239	239	0	2,487				
トータルコスト(A)+(B)		千円	474	674	345	2,727				

事務事業名	各種広域幹線国道道整備促進期成会参画事業	所属部	事業部	所属課	建設課
-------	----------------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 引き続き要望を行い、県道の改良整備は進捗しているが、交通網の整備に力を入れたい。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 厳しい財政状況の下、全ての要望箇所の整備改良が図られていない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 期成会運営であり、会の運営上削減の余地はない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 中九州高規格道路推進期成会運営をはじめ、必要最小限人員で進めており、削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 地域間を結ぶ国・県道を住民が安心して通行できるよう期成会から道路整備改良を要望し、安全性・快適性・迅速性の確保を図るものである。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 会員は、市であるため移行できない。

3 評価結果の総括 (CHECK)

各種期成会等参画事業を統合し、本事業で1本化した。更に効率化を図り進めていく。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						